

水辺の自然再生ミニシンポジウム・地域研修会開催
里山里地水辺の自然再生と保全活動-外来種防除による希少種保全、成果と課題

会場 尾根会館（大崎市鹿島台平渡字上戸下 27-6）

期日 2025 年 2 月 15 日（土） 14：30～17：30

主催 NPO 法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群里山未来拠点協議会

次 第

趣旨説明

外来種防除を継続しゼニタナゴ・シナイモツゴ等希少種を守ろう高橋清孝（シナイモツゴ郷の会） 14：30～14：40
講演

- 1) ゼニタナゴの国内希少野生動植物種第一種指定について（オンライン講演・質疑）
環境省担当官 14：40～15：15
- 2) 大崎市における希少動物保全の取り組み三宅源行（大崎市世界農業遺産未来戦略推進室） 15：15～15：30
- 3) アメリカザリガニの捕獲による繁殖防止 佐伯光広（シナイモツゴ郷の会） 15：30～15：45
- 4) アメリカザリガニ防除による水生昆虫・二枚貝の復元と今後の課題 15：45～16：00

長谷川政智・高橋清孝（シナイモツゴ郷の会）

◎休憩、試食会（予定）小型ザリガニビスクープのレトルトパックの紹介と試食 16：00～16：20

シナイモツゴ郷の会・南郷高校・宮城県水産高校・宮城県水産技術総合センター

- 5) 50 年ぶりの里山ため池埋土種子発芽試験でわかったこと 南郷高校（早坂史郎） 16：20～16：35
- 6) 温暖化で激変、秋サケの動向と今後の行方（ビデオ講演・オンライン質疑）

帰山雅秀（北大名誉教授） 16：35～16：50

総合討論 座長 高橋清孝 16：50～17：30

趣旨説明 高橋清孝(シナイモツゴ郷の会)

当会は、地域の方々と連携して 2002 年からブラックバスとアメリカザリガニ退治を続け、里山のため池にしか生息できない貴重な生き物を守ってきました。鹿島台地区の里山ため池では絶滅寸前だったゼニタナゴとシナイモツゴが復元し、現在、両種が混生する大群を見ることができるようになりました（写真）。保全対象の「旧品井沼周辺ため池群」は 2024 年 3 月に環境省「自然共生サイト」に登録、アメリカザリガニについては、2023 年 6 月に条件付特定外来生物に



指定、さらに、種の保存法の改正によりゼニタナゴが国内希少野生動植物種特定第一種（動物では初めて）、シナイモツゴが特定第二種に指定され、2 月 12 日に施行されました。本シンポジウムで議論し、行政機関と協議しながら、地域の方々・学校・企業と連携して、ため池群の希少種保全と取り組んでいきたいと考えています。また、豊かな自然を守り続けるために取り組んでいる新たな技術開発や生態系復元の成果についても報告します。さらに、温暖化の影響は里山のため池にも波及しており、対策の必要性和緊急性に関する情報を共有するため、影響が最も深刻化している東北太平洋沿岸河川の秋サケについて、サケ研究の第一人者である帰山北大名誉教授にビデオ講演・オンラインで質疑応答してもらいます。



問い合わせ先： NPO 法人シナイモツゴ郷の会

理事長 高橋清孝 電話 090-4043-3692